

◇ 令和5年度 指定管理者事業評価書

施設名	草津まちづくりセンター			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	19,039,834円		16,672,817円	健全経営となった	今後もこの状態を継続する
施設HPアドレス	http://www.machikyou.jp/kusatsu/		2年目	18,687,481円		18,687,893円	健全経営となった	今後もこの状態を継続する
指定管理者名	草津学区ひと・まちいきいき協議会		3年目	18,969,650円		17,172,576円	健全経営となった	今後もこの状態を継続する
指定期間	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日	4年目	18,967,396円		健全経営となった	今後もこの状態を継続する
評価対象期間	令和5年4月1日	～	令和6年3月31日	5年目				

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	平成29年4月1日
指定管理導入前の運営形態	供用開始と同時に指定管理者制度を導入

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆
年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) 草津市立地域まちづくりセンター条例第3条に掲げる業務について、各事業を計画および実施する際には前例踏襲ではなく、地域の特色に合わせた事業展開が行えるよう創意工夫を図る。また、草津まちづくりセンターにおいて、使用者が安全・安心して使用できるよう管理運営に努め、貸館件数や利用者数の増加を図る。		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) 利用者のニーズを踏まえたセンター運営に取り組まれた結果、貸館件数、利用者数ともに、増加に繋がられた。 また、中間年齢層に対する講座にも注力され、幅広い年齢層にセンターを利用してもらおう努力をしていただいた。 引き続き、地域のまちづくりの拠点として、安心・安全な企画、運営に取り組まいたい。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入) 草津市立地域まちづくりセンター条例第3条に掲げる業務について、地域が豊かになる学びの課題でもある地域コミュニティが希薄化する中、ふれあいまつり・サマーフェスなど多くの参加があった。また、地域づくりでは、地域団体と協力し、事業を実施することができた。利用者アンケートの結果においては、ほとんどの方が高評価であるが、自由記載では、使用許可申請書の手続きや、駐車場に伴う意見が多かった。今後も利用しやすい施設運営に努めたい。		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証 (応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等)) 地域の活動拠点である地域まちづくりセンターを中心として、地域における関係諸団体と連携し、地域住民とともに地域のまちづくりを包括しているまちづくり協議会が知見と経験を活かし、発展的に管理・運営ができるのは現指定管理者以外にはなく、非公募による選定とした。 (利用者数の状況等) 地域住民を対象とした公的な役割が大きく、市場原理に左右されることは望ましくないことから、使用料制としておりますが、利用者数の増加を目指し、地域の活動拠点等として利用していただけるよう努めていただいた。	

◇施設に係る主な指定管理業務
・地域まちづくりセンターの運営および維持管理に関すること。 ・草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

貸館等に関する業務					
評価項目1	指定管理者の自己評価			市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	施設の管理運営に関する貸館等業務の基準に従い、適正に実施することができた。また、備品等の保守管理、清掃業務、整備業務、センター保全業務についても適切に行った。		上半期評価	仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適切に実施された。 貸館の利用についても増加しており、引き続き適切な貸館業務を行われたい。
	☆☆☆☆☆			☆☆☆☆☆	
	下半期評価	施設の管理運営に関する貸館等業務の基準に従い、適正に実施することができた。今年度予定していた貸館件数、利用者数ともに前年度比で増加した。		下半期評価	上半期に引き続き、仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適切に実施された。 また、センター利用者のニーズを汲み取ることで、利用者の増加に繋げられた。
	☆☆☆☆☆			☆☆☆☆☆	

施設および備品の維持管理等					
評価項目2	指定管理者の自己評価			市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	施設等の日常管理業務を行い、備品等の保守管理、清掃業務、整備業務、センター保全業務について適切に行った。		上半期評価	施設および備品の維持管理のため設備機器や清掃について適切に実施された。 消防訓練については年2回の訓練を計画的に実施されたい。
	☆☆☆			☆☆☆	
	下半期評価	施設等の日常管理業務を行い、法的点検、定期点検維持管理や、設備機器の維持管理、備品等の保守管理、清掃業務、警備業務、センターの保全について仕様書に基づき、適切に行った。		下半期評価	上半期に引き続き、施設および備品の維持管理のため設備機器や清掃について適切に実施された。 駐車場の無断駐車の確認についても引き続き対応されたい。
	☆☆☆☆☆			☆☆☆☆☆	

センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務の基準					
評価項目3	指定管理者の自己評価			市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	センターの活動、地域情報誌、市政情報の発信・周知に繋げた。また、ホームページの情報発信も随時更新を行った。		上半期評価	さまざまな団体と協働し、地域社会のニーズに応えた講座や企画を実施いただいた。 センターの活動、地域情報誌、市政情報の発信・周知についても適切に実施された。 今後はSNS等も活用した情報発信を期待する。
	☆☆☆			☆☆☆	
	下半期評価	センターの活動、地域情報誌について、利用者が望む情報についてホームページなど今後見直し改善が必要。運用の改善に努めていき発信していきたい。		下半期評価	仕様書の基準を遵守して、地域ニーズに応じた情報発信を実施された。 今後は地域情報誌だけでなく、SNSを活用した情報発信にも期待したい。
	☆☆☆☆☆			☆☆☆	

経営管理に関する業務					
評価項目4	指定管理者の自己評価			市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	仕様に定められた職員体制を維持し、円滑な業務遂行ができた。また、職員のスキルアップに努めた。		上半期評価	仕様書に定められた基準を遵守し、職員の配置や研修などの経営管理について適切に実施された。 経費削減については、公用車でなく自転車での移動によりガソリン代の節約に努められた。
	☆☆☆			☆☆☆	
	下半期評価	仕様に定められた職員体制を維持し、円滑な業務遂行ができた。		下半期評価	上半期に引き続き、仕様書に定められた基準を遵守し、職員の配置や研修などの経営管理について適切に実施された。 コピー用紙の裏紙利用等、今後も経費削減に努められたい。
	☆☆☆☆☆			☆☆☆	